2026年8月7日

各　位

会　社　名　株式会社セイワホールディングス
代表者名　代表取締役社長　野見山　勇大
（コード番号：523A　東証グロース・名証ネクスト）
問合せ先　取締役副社長　井川　径成
（ＴＥＬ：０５２－２６５－８４６７）

三陽電工株式会社、多点センシング技術に関する特許取得のお知らせ

当社グループ会社である三陽電工株式会社（本社：埼玉県戸田市、代表取締役社長：奥田真輔、以下「三陽電工」）が、多点温度センシングソリューション「サンサーモ」の基盤技術となる「センサ搭載編組ケーブル構造」に関する特許を取得したことをお知らせいたします。

本特許は、ケーブル径を変えることなくセンサー搭載数を従来比２倍に拡大できる技術であり、用途に応じて１本のケーブルで最大100ポイントまで対応可能な設計を実現するものです。

三陽電工は、長年培ってきた特殊電線・編組技術を活かし、多点センシングソリューション「サンサーモ」を展開しています。工場設備やプラント設備における発熱・発火監視用途をはじめ、土木工事・地質調査、データセンター、社会インフラ分野など幅広い領域で活用が進んでいます。

１．特許技術の意義

本特許により、従来と同等のケーブルサイズを維持しながら測定ポイント数を増加させることが可能となり、より高密度なセンシングを実現します。

これにより、設備の異常発熱監視、予知保全、品質管理、環境モニタリングなどの用途において、より詳細なデータ取得と状態把握が可能となります。

また、測定ポイントの増加によって設備や空間内の温度分布をより精緻に可視化できることから、お客様の安全性向上や設備保全の高度化への貢献が期待されます。

２．グループ戦略における位置付け

当社は、「たたむにはもったいない中小企業を受け継ぎ、選ばれ続けるモノづくりグループをつくる」をミッションに掲げ、製造業に特化した事業承継とグループ経営を推進しています。

当社グループは、各社が長年培ってきた独自技術や顧客基盤を活かしながら、高付加価値化と新たな事業機会の創出に取り組んでいます。

今回の特許取得は、三陽電工の技術力強化にとどまらず、グループが保有する知的財産の拡充と、ソリューション事業の成長を支える重要な成果であると位置付けています。

３．今後の展望

今後は、工場設備・プラント設備、土木・地質分野、データセンター、エネルギー、社会インフラ分野を中心に提案活動を強化し、多点センシング技術の活用領域を拡大してまいります。

また、多点センシング技術を核として、設備保全・予知保全・品質管理・環境モニタリング分野における課題解決を支援し、製品提供にとどまらないソリューションメーカーへの進化を目指します。

当社は、今後もグループ各社が持つ独自技術の磨き上げと事業間シナジーの創出を通じて、日本のモノづくり産業の発展に貢献してまいります。

【特許概要】

（1）発明の名称	センサ搭載編組ケーブル構造
（2）特許権者	三陽電工株式会社
（3）特許番号	第 7901274 号

以　上